

## 2021 年度定時総会

4月3日（土）なのはなプラザにて定時総会を開催し、来賓・会員の皆さま方、約30名に出席頂きました。

昨年度の事業報告および、収支決算の承認の後、今年度の事業計画および、収支予算について審議が行われました。会員の皆さまより、貴重なご意見などを頂いた後、計画案は可決されました。

また、設立から今日に至るまで、ご尽力いただきました吉田会長が、一関市を離れることになり、任期途中の退任となりました。これに伴い、一関高専の新校長の荒木先生が理事に就任することが総会で承認され、理事の互選により新しい会長となることに決定しました。



▲ 荒木会長、就任挨拶

今年度協会では、引き続き窓口での外国人相談をはじめ、多言語での情報発信、日本語教室の開催・拡大などの事業を展開してまいります。

## 就任のご挨拶

昨年2月に発足したこの国際交流協会ですが、端からコロナ感染の第一波に見舞われ、活動のスタートダッシュができませんでした。コロナの感染状況はその後、第二波、第三波と続き、現在は第四波のただ中です。ワクチン接種も当初の予定どおりには進んでおらず、通常の日常がやってくるのはもう暫く時間が必要と考えられます。渡航が厳しく制限されていますので昨年の国際交流協会の活動は規則整備、ホームページの作成、事務局の開設などいけば地固めのような地道な活動を実施しました。今は大きくジャンプするための準備期間と考え、活動可能な事業を企画し、それにしっかりと取り組みたいと考えています。

国際交流は人と人との繋がりがもっとも重要で、異文化を理解することです。ポストコロナがどのような世界になるのかは見通せませんが、多くの人は「人の絆」の重要性を再認識しました。世界各国がコロナ禍で孤立したからこそ国際交流の活動はますます重要性が認められるのではないのでしょうか。ここ一関市でも国際交流があたりまえになるような活動を展開していきます。今後も会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



一関市国際交流協会  
会長 荒木 信夫

## 退任にあたって



岩手県南の清都、一関市に国際交流協会が設立して1年余りが経過しました。私は、その設立準備委員会に委員長として参画させていただいたご縁もあり、設立総会において初代会長職を仰せつかり、今日まで進めてまいりました。しかしながら、この度、諸事情により一関市を遠く離れることになり、任期途中で大変申し訳ないのですが、4月3日に開催された総会をもって会長の職を退任させていただきました。

本協会は、これまで一関市内各地域で個別に活動され、実績を積み上げてきた国際交流団体を統合する形で発足しましたので、まずは、地域団体代表の皆様方と新協会の活動方針について意思統一を図ることから始まりました。さらに、新協会事務局と市担当部署のみなさんの献身的なご尽力と支援をいただき、今日に至ることができました。改めて、関係の皆様に対し、お礼申し上げます。

さて、国際の「際」という漢字の意味には、「ものともとが接するところ（きわ）」とともに、「出会う、接して交わる」という意味もあります。「際」は英語では「inter-」という接頭辞で訳されることが一般的です。よって、「国際」は「inter-national」となります。「inter-」は相互に（対等に）という意味を持っているので、「国際（inter-national）」は「国境（きわ）」を超えて出会う、相互に交わる」ことになり、国際交流の根本精神を表していると言えるでしょう。

一関市国際交流協会は、これから新会長のもとに次のステージへと進みます。今後、会員の皆様も「際」や「inter-」の精神のもと、新しい出会いを楽しみに、相互連携して、本会とともに歩んで行かれることを祈念いたします。

最後に、これまでご支援いただきました関係の皆様方に、心より感謝申し上げますとともに、一関市国際交流協会の発展をお祈りして、退任のあいさつとさせていただきます。

一関市国際交流協会  
前会長 吉田 正道

## オンラインイベントを開催します



7月11日（日）、オンラインツール（Zoom）を使用したイベントを開催します。

今回は、日本語教室で学習しているフランス出身のオリビエさんから、フランスのイベントについて紹介していただきます。詳しくはチラシをお送りしますので、興味のある方はぜひご参加ください。



## 日越交流事業 25 周年を迎えました

1996 年からスタートした、旧藤沢町国際交流協会とベトナムの交流事業が、昨年で 25 周年を迎えました。今まで来訪された学生は 146 名、ホストファミリーは延べ 182 名に及びました。

ベトナム・ホーチミン市では、12 月に 25 周年のお祝いを開催し、一関市長を始め、今までこの事業にご尽力された方々もビデオレターを贈り、お祝いをしました。お世話になったホストファミリーの名前が刻まれたお祝い品がベトナムより届き、おひとりおひとりにご担当の方から手渡ししていただきました。

昨年度は、一関市国際交流協会として統合後初めての事業となる計画でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいました。事業が再開できたら、より一層皆様からのご協力をいただきながら交流を盛り上げていければと思います。



▲ 25 周年記念品

## 市内各地域での交流事業を紹介します

市内各地域で、在住外国人や技能実習生などと、様々な交流を行っています。興味・関心のある分野で、一緒に活動しませんか？みなさまからのご協力、お待ちしております！

### 【日越教育交流事業】

ベトナム・ホーチミン市から日本語を学ぶ学生らを招へし、市内の中学校や高校、企業・福祉施設を訪問、ホームステイなどで地域住民との交流を通じて、相互理解を図ります。

なお、ホームステイ受入れをしてくれるホストファミリーも随時募集しています。



## 食糧支援事業の多言語による情報発信の取り組みについて

一関市社会福祉協議会では、地域のみなさまからいただいた食料品をあずかり、生活に困った方へ提供する「食糧支援事業」を実施しています。

先日、いちのせき市民活動センターのセンター長より、社協のご担当者とお話しさせていただきました。担当の方から、新型コロナウイルスの影響で収入が減り、支援を求める声が増えてきている、というお話を伺いました。日本人の利用者がほとんどですが、生活に困っている在住外国人もあり、その方々に情報が行き渡らない現状もお話しされていました。

そこで協会では、在住外国人にもこの事業を周知しようと、社協とともに多言語で情報発信に向けて取り組むことにしました。この取り組みは、ボランティア登録をされている方々から翻訳のご協力をいただいているところです。サポート体制につきましても、連携を図りながら進めてまいります。



▲ 社協による食糧支援事業

## ボランティアバンク登録募集

会員の皆さまのご協力により、日本語教室での学習者へのサポートや、オンラインイベントにて文化紹介、ホームページや各種案内チラシの翻訳など様々な分野で協会の活動を支援して頂いております。多言語対応に関しても、英語・中国語・韓国語・ベトナム語・タガログ語・フランス語の各言語で登録頂いております。ご協力、大変ありがとうございます。

幅広い活動のため、引き続きボランティア登録を募集しています。国籍、会員登録の有無は問いません。みなさまの興味・関心・得意分野で、当協会の活動と一緒に盛り上げてくださる方々からの登録をお待ちしております。

登録ご希望の方へ、申込み用紙をお渡しいたします。また、協会ホームページからもダウンロードできます。詳しくは、協会までお問い合わせください。



## 会費納入のご案内

本年度の年会費をまだ納めていない会員の方は、お早めにお手続きくださいますようお願いいたします。会員の方々からの会費は、協会の様々な事業や運営に活用させて頂いております。

なお、振込により納入する場合は、下記の通り口座名義が変更になっておりますので、ご注意ください。

### 【振込先】

岩手銀行 一関支店 店番 024 口座番号 2133128 (普通)

イチノセキノコクサイコウリョウキョウカイ カイチョウ アラキノブオ  
一関市国際交流協会 会長 荒木信夫



### 一関市国際交流協会

岩手県一関市大町 4-29 ののはなプラザ 4F  
TEL : 0191-34-4711 FAX : 0191-34-4712  
E-mail : i-intl@snow.ocn.ne.jp  
ホームページ : <https://www.ichinoseki-ia.jp>

●開所時間 9 : 00am ~ 6 : 00pm  
●定休日 毎週木曜日・祝日・12/29~1/3



一関市国際交流協会  
Facebook



ホームページ